

1 高齢者を介護する人数の減少とその対策について

ただいまの 宮田 妃奈香 議員のご質問にお答え申し上げます。

高齢者を介護する人数の減少とその対策について、であります。少子高齢化に伴う現役世代の減少は、全国的な傾向であり、介護サービスを支える若い世代の人材を育成することは、高齢者が安心して生活していくために重要な課題であります。

宮田議員のおっしゃるとおり、市内に介護福祉士などの資格が取れる進学先があると、地元で介護の仕事に就きたいと考える方の増加につながると考えます。一方で、群馬県内10カ所の「介護福祉士養成施設」の入学者は年々減少を続け、令和5年度の入学者は、入学定員に対して、30.2%と定員を大きく下まわっており、他の多くの仕事の中から介護職を選んでももらえるものにすることが、差し迫った課題となっております。

このため、介護職を目指す方の支援として、県内では、介護福祉士

になるための修学費用の貸し付けや、一度離職した介護人材の再就職に必要な準備金の貸し付けを無利子で行い、一定期間、県内で介護等の仕事に就くことで、返済を全額免除する取り組みを行っております。

その他、就職後の各種研修費用の補助や、働きやすい職場環境づくりに取り組む事業者に対する支援などにより、若い世代の方が、地元で安心して介護の仕事を選んでいただけるよう、引き続き関係機関と連携して取り組んでみたいと考えております。

以上申し上げまして、 宮田 妃奈香 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。